

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7494188号
(P7494188)

(45)発行日 令和6年6月3日(2024.6.3)

(24)登録日 令和6年5月24日(2024.5.24)

(51)国際特許分類		F I	
B 6 5 D	85/10 (2006.01)	B 6 5 D	85/10
B 6 5 D	5/66 (2006.01)	B 6 5 D	5/66 3 0 1 C
		B 6 5 D	5/66 3 1 1 F
請求項の数 11 (全20頁)			
(21)出願番号	特願2021-542519(P2021-542519)	(73)特許権者	392003937
(86)(22)出願日	令和2年1月24日(2020.1.24)		ジー．デー ソチエタ ペル アツィオニ
(65)公表番号	特表2022-519028(P2022-519028 A)		G．D S O C I E T A P E R A Z I O N I
(43)公表日	令和4年3月18日(2022.3.18)		イタリア国，ポローニャ 4 0 1 3 3，
(86)国際出願番号	PCT/IB2020/050575		ピア バッティンダルノ 9 1
(87)国際公開番号	WO2020/152649	(74)代理人	100099759
(87)国際公開日	令和2年7月30日(2020.7.30)		弁理士 青木 篤
審査請求日	令和5年1月23日(2023.1.23)	(74)代理人	100123582
(31)優先権主張番号	102019000001127		弁理士 三橋 真二
(32)優先日	平成31年1月25日(2019.1.25)	(74)代理人	100092624
(33)優先権主張国・地域又は機関	イタリア(IT)		弁理士 鶴田 準一
		(74)代理人	100114018
			弁理士 南山 知広
		(74)代理人	100153729
		最終頁に続く	

(54)【発明の名称】 2つのヒンジ式蓋を有した喫煙物品用硬質パッケージ、及び、そのような喫煙物品用硬質パッケージを製造するためのブランク

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

喫煙物品用パッケージ（1）であって、
互いに隣接して配置された2つの喫煙物品群（4）と、
前記2つの喫煙物品群（4）を取り囲む内側収容部材（2）であり、それぞれ対応する前記喫煙物品群（4）を出し入れするための2つの異なる別個の取り出し開口（12）を有し、さらに、前面壁（13）と、2つの側壁（14）と、を含む、内側収容部材（2）と、
前記内側収容部材（2）の周囲に配置された外側収容部材（3）であり、前記2つの喫煙物品群（4）を取り囲み、さらに、背面壁（17）を含み、そして、前面壁を有していない、外側収容部材（3）と、
前記外側収容部材（3）の前記背面壁（17）の互いに反対側の端部に対してヒンジ結合された2つの蓋（18）であり、対応する前記取り出し開口（12）の開放位置と閉塞位置との間にわたって回転し、さらに、それぞれが、前記外側収容部材（3）の前記背面壁（17）に対してヒンジ結合された背面壁（23）と、2つの側壁（24）と、前面壁（25）と、前記前面壁（25）と前記背面壁（23）との間に介在された端面壁（26）と、を含む、2つの蓋（18）と、を含み、
前記喫煙物品用パッケージ（1）は、
前記喫煙物品群（4）のそれぞれが、前記内側収容部材（2）の幅の半分に等しい幅と、前記内側収容部材（2）の高さに等しい高さと、を有していること、

前記２つの喫煙物品群（４）が、互いに並置して配置されているとともに、それぞれ対応する側壁（８）の領域で隣接していること、及び、

前記２つの取り出し開口（１２）が、前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）の対角線に沿った互いに反対側の頂点の領域に配置され、前記２つの取り出し開口（１２）のそれぞれが、前記内側収容部材（２）の幅の半分に等しい幅を有していること、を特徴とする、喫煙物品用パッケージ（１）。

【請求項２】

前記閉塞位置では、蓋（１８）の前記前面壁（２５）の端部（２７）は、他方の前記蓋（１８）の前記前面壁（２５）の端部（２８）に対して隣接しており、これにより、両方の蓋（１８）の両方の前記前面壁は、前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）の全体を覆っている、請求項１に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

10

【請求項３】

前記外側収容部材（３）は、前記背面壁（１７）と、前記背面壁（１７）に対して垂直に配置された２つの側壁（１９）と、を含む、請求項１又は２に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

【請求項４】

前記外側収容部材（３）の前記２つの側壁（１９）は、前記内側収容部材（２）の前記２つの側壁（１４）に対して接着されている、請求項３に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

【請求項５】

前記内側収容部材（２）は、前記前面壁（１３）と、前記前面壁（１３）に対して垂直に配置された前記２つの側壁（１４）と、２つの端面壁（１６）と、互いに別個のかつ離間した２つの背面壁（１５）と、を含み、前記取り出し開口（１２）は、対応する前記端面壁（１６）内へと及び前記前面壁（１３）内へと、少なくとも部分的に延びている、請求項１～４のいずれか一項に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

20

【請求項６】

それぞれが、対応する前記取り出し開口（１２）上において前記内側収容部材（２）に対して接続された２つの閉塞タブであり、前記取り出し開口（１２）自体を覆わないという目的のために、持ち上げ可能なものとされた２つの閉塞タブを含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

30

【請求項７】

少なくとも１つの前記閉塞タブは、対応する蓋（１８）に対して恒久的に接続されている、請求項６に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

【請求項８】

各蓋（１８）の前記前面壁（２５）は、台形状を有し、

各蓋（１８）の自由端（２７、２８）は、前記蓋（１８）の前記前面壁（２５）の側方縁（３１）に対して鋭角又は鈍角を形成している、請求項１～７のいずれか一項に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

【請求項９】

前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）には、前記取り出し開口（１２）の横に配置された又は前記取り出し開口（１２）どうしの間に配置された文字又は描画が設けられている、請求項１～８のいずれか一項に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

40

【請求項１０】

前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）の領域には、第１の喫煙物品群（４）を出し入れするための第１の取り出し開口（１２）と、第２の喫煙物品群（４）を出し入れするための第２の取り出し開口（１２）と、が少なくとも部分的に存在し、

第１蓋（１８）は、前記背面壁（１７）の第１縁（２１）に対してヒンジ結合され、及び、第２蓋（１８）は、前記背面壁（１７）の第２縁（２２）に対してヒンジ結合され、前記第１蓋（１８）及び前記第２蓋（１８）のそれぞれには、前記前面壁（２５）と、前記端面壁（２６）と、前記背面壁（２３）と、が設けられ、前記第１蓋（１８）及び前記

50

第2蓋(18)のそれぞれは、使用時には、それぞれ対応する前記取り出し開口(12)を閉塞する前記閉塞位置と、それぞれ対応する前記取り出し開口(12)に対して出し入れを可能とする前記開放位置と、の間にわたって配置されるように構成され、

前記閉塞位置では、両方の蓋(18)が前記内側収容部材(2)の前記前面壁(13)の全体を覆っている、請求項1～9のいずれか一項に記載の喫煙物品用パッケージ(1)。
【請求項11】

請求項1～10のいずれか一項に記載の喫煙物品用パッケージ(1)の前記内側収容部材(2)を形成するためのブランク(33)であって、

前記内側収容部材(2)は背面壁(15)を含み、

前記内側収容部材(2)の前記背面壁(15)の2つの部分を構成する、2つの第1パネル(15')と、

前記内側収容部材(2)の前記端面壁(16)を構成するとともに、それぞれが前記第1パネル(15')に対して隣接された、2つの第2パネル(16')と、

前記内側収容部材(2)の前記前面壁(13)を構成するとともに、前記2つの第2パネル(16')の間に介在された、第3パネル(13')と、を含み、

前記2つの取り出し開口(12)は、前記第2パネル(16')の領域内に及び前記第3パネル(13')の領域内に、形成され、

前記2つの取り出し開口(12)は、前記第3パネル(13')の対角線に沿った互いに反対側の頂点の領域に配置され、前記2つの取り出し開口(12)のそれぞれは、前記第3パネル(13')の幅の半分(等しい幅)を有している、ブランク(33)。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

関連出願の相互参照

この特許出願は、2019年1月25日付けで出願されたイタリア国特許出願第102019000001127号明細書の優先権を主張するものであり、その全体的開示内容が、参照により本明細書に援用される。

【0002】

本発明は、2つのヒンジ式蓋を有した喫煙物品用硬質パッケージ、及び、そのような喫煙物品用硬質パッケージを製造するためのブランク、に関する。

【0003】

本発明は、一般性を損なうことなく以下の説明で明示的に参照されることとなる紙巻きタバコパッケージにおいて、有利に適用される。本明細書では、実際、より一般的な表現である「喫煙物品」ではなく、「紙巻きタバコ」という具体的な例を区別せずに参照するが、それによって他のタイプの物品(シガー、シガリロ、電子タバコ又はeタバコ、フィルタなどの補助製品、eタバコ用の詰替品、並びに、他のタバコ製品又は代替可能な構成要素又はタバコ代替品、など)との関連で一般性が損なわれることはない。

【背景技術】

【0004】

ヒンジ式蓋を有した硬質紙巻きタバコパッケージは、製造が容易であるため、また、使いやすくて実用的であるため、さらに、内部の紙巻きタバコを良好に保護するため、現在市場で最も人気のある紙巻きタバコパッケージである。ヒンジ式蓋を有した硬質紙巻きタバコパッケージは、金属ペーパーシートによって包装された紙巻きタバコ群からなる内側包装部材と、この内側包装部材を収容した硬質の外側ケーシングと、を含む。内側包装部材は、初期的には完全に閉塞されており、紙巻きタバコパッケージの最初の開封時に除去されこれにより封入された紙巻きタバコを内側包装部材から取り出すことを可能とする使い捨て式引き剥がし部分(「プル」と称される)によって閉塞され得る紙巻きタバコ用取り出し開口を有している。それ以外にも、再配置可能な接着剤を使用して内側包装部材に接続された再利用可能な閉塞ラベル(「すなわち、「開閉」タイプ)によって、閉塞することができる。公知の硬質パッケージでは、外側ケーシングは、開放した上端を有したカ

カップ形状の容器と、同様にカップ形状とされ、その容器に対してヒンジ結合されていて、容器自体に関する開放位置と閉塞位置との間にわたって回転する蓋と、から構成されている。透明なプラスチック製包装シート（通常は、セロハン（登録商標）又はポリプロピレン）を、外側包装部材の周囲に巻き付け、このシートを熱シールすることで、タバコの水分及び香りが保持される。また、二連式の硬質紙巻きタバコパッケージ、すなわち、互いに並置された又は互いに重ね合わされた2つの紙巻きタバコパッケージが、例えば、特許文献1、特許文献2、及び特許文献3により、公知である。二連式の紙巻きタバコパッケージは、通常、前面壁と、背面壁と、分割部材によって2つに分割された収容空間を規定する2つの側壁と、を含むカップ本体を含む。この場合、各収容空間は、カップ本体に対してヒンジ結合された独自の蓋を有している。典型的には、紙巻きタバコ群（内側包装部材によって囲まれていても囲まれていなくてもよい）が、一方の隔室内に集められ、他方の隔室内には、使用済みの紙巻きタバコが、又は、ライターなどの付属品が、集められ、あるいは、別の紙巻きタバコ群（内側包装部材によって囲まれていても囲まれていなくてもよい）が集められる。この場合、一方の隔室内に集められた紙巻きタバコ群は、他方の隔室内に集められた紙巻きタバコ群とは異なるタイプの紙巻きタバコ（例えば、フレーバー付きの紙巻きタバコ）を含んでいてもよい。

10

これに代えて、特許文献4及び特許文献5により、単一の紙巻きタバコ群を収容した収容本体を含む紙巻きタバコパッケージが公知である。収容本体は、収容本体の長手方向両端部に設けられた2つのヒンジ式蓋を含み、これにより、両端から同一区画に対してのアクセスが可能とされている。よって、ユーザは、タバコプラグによって紙巻きタバコを把持することができ、紙巻きタバコのフィルタプラグの汚染を防止することができる。加えて、特許文献6によって開示されたパッケージの収容本体は、前面壁を有していない。

20

〔先行技術文献〕

〔特許文献〕

〔文献〕米国特許出願公開第2017／0113865号

〔文献〕米国特許第5,074,412号

〔文献〕国際公開第99／43576号

〔文献〕中国実用新案第205633344号

〔文献〕中国実用新案第2488869号明細書

〔文献〕中国実用新案第2488869号明細書

30

〔0005〕

現在施行されているタバコ製品指令は、紙巻きタバコパッケージの外側の前面壁及び背面壁の少なくとも26%が、喫煙の危険性に関する健康上の警告を示す写真及び文字によって覆われなければならないことを、要求している。さらに、同指令は、タバコ製品の外側の包装部材に宣伝要素及び誤解を招く要素を使用することを禁止している。

〔0006〕

したがって、公知のタイプのパッケージは、宣伝用のメッセージ及び／又は画像を使用するために利用可能な表面積が少ないという欠点を有している。実際、現在のパッケージでは、カップ本体から突出したカラー部の表面上だけにしか、宣伝用のメッセージ及び／又は画像を使用することができず、蓋を開けた時しか見ることができない。

40

〔発明の概要〕

〔0007〕

したがって、本発明の目的は、従来技術における欠点が無くかつ製造が容易で経済的な、2つのヒンジ式蓋を有した喫煙物品用硬質パッケージと、そのような喫煙物品用硬質パッケージを製造するためのブランクと、を提供することである。

〔0008〕

本発明によれば、添付の請求項において主張するような、2つのヒンジ式蓋を有した喫煙物品用硬質パッケージと、そのような喫煙物品用硬質パッケージを製造するためのブランクと、が提供される。

〔0009〕

50

以下、本発明について、そのいくつかの非限定的な実施形態を図示している添付図面を参照して説明する。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】図1は、本発明に従って製造された、両方の蓋が閉塞位置とされた第1実施形態による紙巻きタバコパッケージを示す正面からの斜視図である。

【図2】図2は、両方の蓋が閉塞位置とされた図1の紙巻きタバコパッケージを示す背面からの斜視図である。

【図3】図3は、一方の蓋が開放位置とされた図1の紙巻きタバコパッケージを示す正面からの斜視図である。

【図4】図4は、他方の蓋が開放位置とされた図3の紙巻きタバコパッケージを示す正面からの斜視図である。

【図5】図5は、2つの蓋のうち一方が開放位置とされた第2実施形態による紙巻きタバコパッケージを示す正面からの斜視図である。

【図6】図6は、一方の蓋が開放位置とされた第3実施形態による紙巻きタバコパッケージを示す正面からの斜視図であり、これは、本発明の一部ではない。

【図7】図7は、内側包装部材内に封入された紙巻きタバコ群を示す斜視図である。

【図8】図8は、図1～図4に示す第1実施形態によるパッケージの内側収容部材を作製するために使用されるブランクを示す平面図である。

【図9】図9は、図1～図4に示す第1実施形態によるパッケージの外側収容部材を作製するために使用されるブランクを示す平面図である。

【図10】図10は、図5に示す第2実施形態によるパッケージの内側収容部材を作製するために使用されるブランクを示す平面図である。

【図11】図11は、図5に示す第2実施形態によるパッケージの外側収容部材を作製するために使用されるブランクを示す平面図である。

【図12】図12は、図6に示す第3実施形態によるパッケージの内側収容部材を作製するために使用されるブランクを示す平面図であり、これは、本発明の一部ではない。

【図13】図13は、図6に示す第3実施形態によるパッケージの外側収容部材を作製するために使用されるブランクを示す平面図であり、これは、本発明の一部ではない。

【図14】図14～図16は、図8及び図10のブランクの代替品をなすパッケージの内側収容部材を作製するために使用されるブランクの各実施形態を示す平面図である。

【図15】図14～図16は、図8及び図10のブランクの代替品をなすパッケージの内側収容部材を作製するために使用されるブランクの各実施形態を示す平面図である。

【図16】図14～図16は、図8及び図10のブランクの代替品をなすパッケージの内側収容部材を作製するために使用されるブランクの各実施形態を示す平面図である。

【図17】図17は、図8と同様の内側収容部材を作製するためのブランクに関する追加的な実施形態を示す平面図であって、閉塞タブが使用されている。

【発明を実施するための形態】

【0011】

図1では、参照符号1は、紙巻きタバコパッケージを全体的に示している。パッケージ1内に収容される紙巻きタバコは、例えば、HNB紙巻きタバコ（ヒート・ノット・バーンの頭文字、すなわち、タバコが加熱されて燃焼しない紙巻きタバコ）、あるいは、高さが低減された紙巻きタバコ、とすることができる。紙巻きタバコパッケージ1は、実質的に矩形の平行六面体形状を有している。

【0012】

「幅」という用語は、背面壁に対して平行に測定されたかつ側壁に対して垂直に測定された寸法を意味する。

【0013】

「高さ」という用語は、背面壁に対して平行に測定されたかつ端面壁に対して垂直に（閉塞状態のパッケージ）測定された寸法を意味する。

10

20

30

40

50

【0014】

紙巻きタバコパッケージ1は、内側収容部材2（図3～図6において見ることができる）と、好ましくは通常の厚紙又は硬質の厚紙から形成された外側収容部材3（図1～図6において見ることができる）と、を含む。

【0015】

2つの紙巻きタバコ群4が、内側収容部材2の内部に配置される。紙巻きタバコ群4のそれぞれは、好ましくは、それぞれ対応する内側包装部材5によって取り囲まれる（図7に示すように）。

【0016】

紙巻きタバコ群4は、それぞれ、1つの前面壁6と、1つの背面壁7と、2つの側壁8と、1つの底面壁9と、1つの頂面壁10と、を有している。紙巻きタバコ群4の前面壁6及び頂面壁10には、紙巻きタバコを取り出すための開口11が存在している。2つの紙巻きタバコ群4は、互いに隣接して配置される。特に、2つの紙巻きタバコ群4は、互いに対して180°回転しているようにして配置される。「隣接する」という用語は、2つの紙巻きタバコ群4が互いに並置して配置されることを意味する（例えば、図3～図5に示す実施形態のように）、あるいは、互いに上下に配置されることを意味する（例えば、図6に示す実施形態のように）。言い換えれば、「互いに並置される」という用語は、2つの紙巻きタバコ群4が互いに横に並べて配置され、それぞれ対応する側壁8に対して隣接していることを意味する。他方、2つの紙巻きタバコ群4が互いに上下に配置される時には、それらは、紙巻きタバコ群4の底面壁9どうしのところで隣接しており、2つの紙巻きタバコ群4は、互いに対して180°回転している。紙巻きタバコ群4は、少なくとも部分的に、それらを取り囲む内側収容部材2の内部に配置される。特に、紙巻きタバコ群4は、内側収容部材2によって完全に取り囲まれる。紙巻きタバコ群4は、好ましくは、紙巻きタバコの香り及び新鮮さを保持するように密封される。

【0017】

内側収容部材2は、それぞれ対応する紙巻きタバコ群4を出し入れするための2つの異なる別個の取り出し開口12を有している。紙巻きタバコ群4が内側収容部材2内に配置された時には、紙巻きタバコ群4が出し入れ可能であるように、紙巻きタバコ群4の開口11は、内側収容部材2の取り出し開口12のところに配置されなければならない。内側収容部材2は、前面壁13、この前面壁13に対して垂直に配置された2つの側壁14、及び／又は、背面壁15（又は、背面壁15の少なくとも一部）、を含む。2つの取り出し開口12は、内側収容部材2の少なくとも前面壁13上に形成されており、取り出し開口を介して、それぞれ対応する紙巻きタバコ群4を出し入れすることができる。

【0018】

可能な実施形態（例えば、図3～図5に示す）によれば、内側収容部材2は、また、前面壁13及び各背面壁15に対して垂直に配置された2つの端面壁16を含む。内側収容部材2の端面壁16が存在する場合には、各取り出し開口12は、また、それぞれ対応する端面壁16へと部分的に延びている。すなわち、この場合、各取り出し開口12は、図3～図5に示すように、前面壁13及び端面壁16へと、少なくとも部分的に延びている。この実施形態では、2つの背面壁15を、2つの端面壁16に対して接続することができる。背面壁は、好ましくは、分離され、離間して配置されている。したがって、この実施形態では、内側収容部材2の2つの背面壁15は、それぞれ対応する端面壁16に対して垂直に配置された2つのパネルのようにして、形成されている。これに代えて、背面壁15は、単一とすることもでき、2つの端面壁16の一方に対して接続することができる。

【0019】

外側収容部材3は、内側収容部材2の周囲に配置され、互いに隣接して配置された2つの紙巻きタバコ群4を取り囲む。外側収容部材3は、背面壁17と、2つの蓋18と、を含む。外側収容部材3は、前面壁を欠いている（すなわち、有していない）。

【0020】

可能な一実施形態によれば、外側収容部材3は、また、存在する場合には、外側収容部

10

20

30

40

50

材３内における内側収容部材２の収容性を向上させる２つの側壁１９を含んでもよい。特に、外側収容部材３の側壁１９は、外側収容部材３の背面壁１７に対して垂直に配置されている。したがって、この実施形態によれば、外側収容部材３は、背面壁１７と、２つの側壁１９と、だけを含む。外側収容部材３の２つの側壁１９は、内側収容部材２の２つの側壁１４に対して接着することができ、これにより、内側収容部材２と外側収容部材３との間の相対移動を防止する。

【００２１】

図２に示すように、２つの蓋１８は、それぞれ対応するヒンジ２１、２２に沿って、外側収容部材３の背面壁１７の両端部に対してヒンジ結合されている。言い換えれば、一方の蓋１８は、背面壁１７の縁２１に対して（すなわち、ヒンジ２１に沿って）ヒンジ結合されており、他方の蓋１８は、背面壁１７の他方の縁２２に対して（すなわち、ヒンジ２２に沿って）ヒンジ結合されている。蓋１８は、内側収容部材２の対応する取り出し開口１２に関する開放位置と閉塞位置との間にわたって、回転することができる。開放位置では、蓋１８は、それぞれ対応する取り出し開口１２に対して出し入れを可能とし、他方、閉塞位置では、蓋１８は、それぞれ対応する取り出し開口１２を閉塞する。各蓋１８は、実質的に矩形の平行六面体形状を有し、カップ状である。蓋１８は、それぞれ、外側収容部材３の背面壁１７に対してヒンジ結合された背面壁２３と、２つの側壁２４と、前面壁２５と、前面壁２５と背面壁２３との間に介在された端面壁２６と、を含む。

【００２２】

図１に示すように、両方の蓋１８が閉塞位置にある時には、両方の蓋は、内側収容部材２の前面壁１３の全体を実質的に覆っている。言い換えれば、閉塞位置では、蓋１８の前面壁２５の自由端２７は、他方の蓋１８の前面壁２５の自由端２８に対して隣接しており、このため、両方の蓋１８の前面壁２５は、内側収容部材２の前面壁１３の全体を実質的に覆っている。内側収容部材２の前面壁１３の一方の半分は、蓋１８によって覆われ、内側収容部材２の前面壁１３の他方の半分は、他方の蓋１８によって覆われている。

【００２３】

図１～図４及び図６に示すように、２つの蓋１８は、紙巻きタバコ群４内に配置された紙巻きタバコの長手方向の延長線に対して実質的に垂直な方向に延びるそれぞれ対応する自由端２７及び２８を有してもよい。言い換えれば、２つの蓋１８は、それぞれの蓋１８の端面壁２６に対して平行な方向に延びるそれぞれ対応する自由端２７及び２８を有している。したがって、各蓋１８の前面壁２５は、矩形形状を有している。

【００２４】

図５に示すように、２つの蓋１８は、紙巻きタバコ群４内に配置された紙巻きタバコの長手方向の延長線に対して実質的に横断して延びるそれぞれ対応する自由端２７及び２８を有してもよい。言い換えれば、２つの蓋１８は、それぞれの蓋１８の端面壁２６に対して傾斜した方向に延びるそれぞれ対応する自由端２７及び２８を有している。したがって、各蓋１８の前面壁２５は、矩形形状を有している。特に、各蓋１８の自由端２７又は２８は、その蓋１８自体の前面壁２５の側方縁３１（それぞれ、同じ蓋１８の前面壁２５と側壁２４との間）に対して、鋭角又は鈍角を形成する。

【００２５】

第１実施形態によれば、内側包装部材５は、熱シール可能なシートを折り曲げて溶着することにより、作製することができる（図７）。この第１実施形態では、各内側包装部材５は、紙巻きタバコ用の取り出し開口１１と、開口１１を開閉するために移動可能とされた再配置可能な閉塞タブ（図７には図示されていない）と、を含む。第２実施形態によれば、内側包装部材５は、包装材料（例えば、厚紙、あるいは、紙の層からなる多層）から形成されたブランクを折り曲げることによって、作製することができる。この第２実施形態では、各内側包装部材５は、紙巻きタバコのための取り出し開口１１と、必要であれば、開口１１を開閉するために移動可能とされた再配置可能な閉塞タブと、を含む。

【００２６】

したがって、内側包装部材５が熱シール可能なシートから形成されている場合も、また

10

20

30

40

50

、内側包装部材 5 が包装材料のブランクから形成されている場合も、紙巻きタバコパッケージ 1 は、2 つの閉塞タブ 50 を含んでもよい。各閉塞タブは、対応する取り出し開口 12 の上方において内側収容部材 2 に対して接続することができ、持ち上げることによって取り出し開口 12 自体を露出させることができる（図 17）、あるいは、内側包装部材 5 に対して接続することができる（図示しない実施形態）。閉塞タブ 50 は、再利用可能（すなわち、「開閉」タイプ）であり、再配置可能な接着剤を使用して内側収容部材 2 又は内側包装部材 5 に対して接続される。加えて、閉塞タブ 50 は、それぞれ対応する蓋 18 に対して（対応する端部フラップ 50 a のところで）恒久的に接続することができる（有利には、蓋 18 の開閉に伴って、閉塞ラベル 50 が剥離／再取付される）。

【0027】

加えて、追加的な実施形態によれば、内側包装部材 5 は、包装材料シート（例えば、スズ箔）を折り曲げることによって作製することができ、この包装部材 5 は、喫煙者が手動で切り離し得る部分であって、紙巻きタバコを取り出すための開口を包装部材 5 内に生成する部分を含む。この実施形態では、パッケージは、いかなる閉塞タブをも含まない。

【0028】

紙巻きタバコ群 4 が、第 1 タイプの包装部材 5 を有し得ること（例えば、包装部材 5 は、熱シール可能な材料シートから作製することができる、あるいは、包装材料又はスズ箔から形成されたブランクから作製することができる）、そして、他の紙巻きタバコ群 4 が、異なるタイプの包装部材 5 を有し得ることは、理解されよう。

【0029】

図 1～図 5 に示す可能な実施形態によれば、紙巻きタバコ群 4 のそれぞれは、内側収容部材 2 の幅の半分に等しい幅（すなわち、紙巻きタバコの長手方向の延長線に対して垂直な方向において測定された寸法）と、内側収容部材 2 の高さに等しい高さ（すなわち、紙巻きタバコの長手方向の延長線の方向において測定された寸法）と、を有していてもよい。この場合、2 つの紙巻きタバコ群 4 は、他方に対して並置して配置され、それぞれ対応する側壁 8 に対して隣接する。2 つの紙巻きタバコ群 4 が 180° 回転した際には、2 つの取り出し開口 12 は、内側収容部材 2 の前面壁 13 の対角線に沿った互いに反対側の頂点に配置される。各取り出し開口 12 は、内側収容部材 2 の幅に対してほぼ等しい幅を有している。

【0030】

図 6 に示す可能な代替的な実施形態によれば、これは本発明の一部ではないが、紙巻きタバコ群 4 のそれぞれは、内側収容部材 2 の幅に等しい幅（すなわち、紙巻きタバコの長手方向の延長線に対して垂直な方向において測定された寸法）と、内側収容部材 2 の高さの半分に等しい高さ（すなわち、紙巻きタバコの長手方向の延長線の方向において測定された寸法）と、を有している。この場合、2 つの紙巻きタバコ群 4 は、互いに上下に配置され、それぞれの端面壁 9 又は 10 の領域において隣接している。特に、2 つの紙巻きタバコ群 4 は、紙巻きタバコ群 4 のそれぞれの底面壁 9 のところで隣接している。図 6 に見られるように、2 つの取り出し開口 12 は、内側収容部材 2 の幅とほぼ等しい幅を有している。したがって、この実施形態によれば、内側収容部材 2 は、端面壁 16 を有していない。

【0031】

紙巻きタバコパッケージ 1 は、好ましくは、内側収容部材 2 の少なくとも前面壁 13 上に、文字又は描画を有するものとする。特に、文字又は描画は、取り出し開口 12 の横に配置される、あるいは、2 つの取り出し開口 12 の間に配置される。

【0032】

追加的な実施形態によれば、内側収容部材 2 には、また、少なくとも 1 対の爪 32（図 8、図 10、及び図 12 に示す）を設けることができる。爪 32 は、内側収容部材 2 から側方に突出することで、それぞれ対応する蓋 18 の側壁 24 に対して係合し、これにより、それぞれ対応する蓋 18 を閉塞位置に維持する。

【0033】

図 8～図 13 は、内側収容部材 2 を作製するためのブランク 33、及び、外側収容部材 3 を作製するためのブランク 34、を示している。図 12 は、内側収容部材 2 を作製するためのブランク 33 に関し、図 13 は、外側収容部材 3 を作製するためのブランク 34 に関するが、これらは、本発明の一部ではない。

【0034】

図 8 及び図 10 は、図 1～図 5 に示すパッケージの内側収容部材 2 を作製するための可能なブランク 33 を示している。図に示すように、ブランク 33 は、内側収容部材 2 の背面壁 15 の一部を構成するパネル 15' と、収容部材 2 の端面壁 16 を構成するパネル 16' と、内側収容部材 2 の前面壁 13 を構成するパネル 13' と、内側収容部材 2 の他方の端面壁 16 を構成する追加的なパネル 16' と、内側収容部材 2 の背面壁 15 の追加的な部分を構成する追加的なパネル 15' と、をこの順に含んでいる。各パネル 15' は、それぞれ対応する折り曲げ線 35 によって、後続のパネル及び／又は直前のパネルに対して、接続されている（図 8 及び図 10 では、折り曲げ線 35 は、実質的に鉛直方向で示されている、すなわち、内部に収容される紙巻きタバコ群 4 の延長線に対して横切る方向の延長線を有するものとして示されている）。ブランク 33 は、また、内側収容部材 2 の側壁 14 を構成する 2 つのパネル 14' を含む。パネル 14' は、折り曲げ線 35 に対して実質的に直交して延びる折り曲げ線 36 によって、互いに反対側の縁のところでパネル 13' に対して接続されている。前面壁 13 を規定する折り曲げ線 36 のところには、存在する場合には、爪 32 が形成される。また、ブランク 33 は、好ましくは、4 つのパネル 14'' を含む。パネル 14'' は、他のパネル 16'' から両側にそれぞれ延びている。パネル 14'' は、パネル 16'' と対応するパネル 14' との間の相対位置を維持するための、すなわち、それぞれ対応する端面壁 16 とそれぞれ対応する側壁 14 との間の相対位置を維持するための、フィン構成する。パネル 14'' には、好ましくは、接着剤が設けられる。パネル 14'' は、折り曲げ線 35 に対して実質的に垂直な折り曲げ線 38 によって、互いに反対側の縁のところでそれぞれ対応するパネル 16' に対して接続されている。折り曲げ線 36 及び 38 は、実質的に互いに位置合わせされている。各パネル 14'' は、切り込み線 39 によって、特に切断線によって、隣接するパネル 14' から分離されている。パネル 13' 上には、及び、対応するパネル 16' 上には、2 つの取り出し開口 12 が形成されている。パネル 13' の中央に対して実質的に面している取り出し開口 12 の 2 つの縁 40 は、使用時にそれぞれ対応する蓋 18 の各自由端 27、28 に対して平行となるような、折り曲げ線 36 に対しての向き（すなわち、傾斜）を有している。したがって、図 8 のブランク 33 は、折り曲げ線 36（すなわち、内側収容部材 2 の前面壁 13 の縁）に対しての、取り出し開口 12 の縁 40 の傾斜という点において、図 10 のブランク 33 とは実質的に相違している。図 8 では、縁 40 は、折り曲げ線 36 に対して実質的に垂直である。他方、図 10 では、縁 40 は、折り曲げ線 36 を横断しており、すなわち傾斜しており、その折り曲げ線 36 に対して鋭角又は鈍角を形成している。

【0035】

要約すると、図 8 及び図 10 に示すブランク 33 は、内側収容部材 2 の背面壁 15 の 2 つの部分構成する 2 つのパネル 15' と、内側収容部材 2 の端面壁 16 を構成する 2 つのパネル 16'（それぞれが、パネル 15' に対して隣接している）と、内側収容部材 2 の前面壁 13 を構成するパネル 13'（2 つの第 7 パネル 16' の間に介在されている）と、を含む。2 つの取り出し開口 12 は、2 つのパネル 16' 上に、及び、他のパネル 13' 上に、形成されている。

【0036】

図 14～図 17 を参照すると、内側収容部材 2 を作製するために、ブランク 33 の追加的な実施形態が示されている。

【0037】

図 14 のブランク 33 は、折り曲げ線によって互いに反対側の縁のところでそれぞれ対応するパネル 14' に接続されかつ切り込み線によってそれぞれ対応するパネル 16' から分離されているパネル 14'' という点においてのみ、図 8 のブランク 33 と相違している。

【0038】

図15のブランク33は、パネル14”のサイズにおいて、図14のブランク33と相違している、すなわち、図15のブランク33のパネル14”は、パネルの対の間において異なるサイズを有している。この実施形態では、ブランク33は、有利には、廃棄材料を発生させることなく帯状材料から形成することができる。加えて、図15のブランク33は、開口12の形状という点において、図14のブランク33と相違している。

【0039】

図17のブランク33は、開口12の形状という点において、及び、2つの閉塞タブ50の存在という点において、図8のブランク33と相違している。

【0040】

図8、図10、図14、及び図15のブランク33を参照すると、パッケージが2つの閉塞タブを含んでいる場合には、それら閉塞タブは、好ましくは、内側収容部材2に再配置可能な接着剤によって固定されることとなる（図17に示すのと同様の態様で）。

【0041】

図16のブランク33は、開口12の形状という点において、並びに、背面壁を形成することを意図されたパネル15’のサイズ及び端面壁16を形成することを意図されたパネル16’のサイズという点において、図15のブランク33と相違している。ブランク33のこの実施形態も、また、有利には、廃棄材料を発生させることなく帯状材料から形成することができる。

【0042】

その上、開口12が他の実施形態よりも大きいことにより、このブランク33は、2つの可能な閉塞タブ50が内側包装部材5に対して固定され、内側収容部材2に対しては固定されないパッケージを作製するのに、特に好適である。

【0043】

図12は、図6に示す実施形態による紙巻きタバコパッケージ1の内側収容部材2を作製するためのブランク33を示している。この実施形態によれば、ブランク33は、内側収容部材2の側壁14の一部を構成するパネル14”と、内側収容部材2の背面壁15を構成するパネル15’と、内側収容部材2の他方の側壁14を構成する追加的なパネル14’と、内側収容部材2の前面壁13を構成するパネル13’と、側壁14の他の部分を構成するパネル14’と、を含む。特に、この最後のパネル14’は、パネル14”と重ね合わされ、パネル14”に対して接着される。ブランク33の各パネル14”、14’、13’は、それぞれ対応する折り曲げ線41によって、後続のパネル及び／又は直前のパネルに対して、接続されている。内側収容部材2の前面壁13を規定する折り曲げ線41のところでは、存在する場合には、爪32が形成されている。

【0044】

要約すると、図12に示すブランク33は、内側収容部材2の側壁14の一部を構成するパネル14”と、内側収容部材2の背面壁15を構成するパネル15’（パネル14”に対して並置して配置されている）と、内側収容部材2の前面壁13を構成するパネル13’と、内側収容部材2の2つの側壁14のそれぞれを構成する2つのパネル14’と、を含む。パネル14’は、第2パネル15’と第3パネル13’との間に介在されており、他方、第1パネル14’は、第3パネル13’に対して並置して配置されている。

【0045】

図9、図11、及び図13は、外側収容部材3のためのブランク34を示している。

【0046】

外側収容部材3のブランク34は、蓋18の前面壁25の補強フラップを構成するパネル25”と、蓋18の前面壁25を構成するパネル25’と、蓋18の端面壁26を構成するパネル26’と、蓋18の背面壁23を構成するパネル23’と、外側収容部材3の背面壁17を構成するパネル17’と、他方の蓋18の背面壁23を構成する追加的なパネル23’と、他方の蓋18の端面壁26を構成する追加的なパネル26’と、他方の蓋18の前面壁25を構成する追加的なパネル25’と、他方の蓋18の前面壁25の補強フラップを

構成するパネル 25”と、をこの順に含んでいる。

【0047】

ブランク 34 の各パネルは、それぞれ対応する折り曲げ線 42 によって、後続のパネル及び／又は直前のパネルに対して、接続されている。図 9 及び図 13 では、折り曲げ線 42 は、実質的に鉛直方向で示されている、すなわち、内部に収容される紙巻きタバコ群 4 の延長線に対して横切る方向の延長線を有するものとして示されている。

【0048】

2 つの蓋 18 の補強フラップ 25”は、各蓋 18 のそれぞれ対応する前面壁 25 の内部に補強構造を構築するために、パネル 25’ と重ね合わされるように構成され（すなわち、それぞれ対応する折り曲げ線 42 に沿って 180° だけ折り曲げられるように構成され）、

10

【0049】

図 9 又は図 13 のブランク 34 は、他の折り曲げ線 42 に対しての、パネル 25’、25”の間に介在する折り曲げ線 42 の傾斜という点において、図 11 のブランク 34 と実質的に相違している。特に、2 つの折り曲げ線 42 は、蓋 18 の前面壁 25 の側方縁 31 に対して傾斜している。傾斜した 2 つの折り曲げ線 42 は、2 つの補強フラップ 25”がパネル 25’ に対して折り曲げられた時には、それぞれ、蓋 18 の自由端 27 又は 28 を形成する。前面壁 25 を規定する 2 つの折り曲げ線 42 のところには、特に切断線（任意選択的）などの切り込み線 43 を有した部分が設けられてもよい。

【0050】

20

図 9、図 11、及び図 13 に示すように、パネル 25’ の互いに反対側の縁のところには、蓋 18 の側壁 24 を構成する 2 つのパネル 24’ がそれぞれ延びている。パネル 25’ は、折り曲げ線 44 によって他のパネル 24’ に対して接続されている。折り曲げ線 44 は、実質的に、蓋 18 の前面壁 25 の側方縁 31 を形成する。

【0051】

パネル 24”は、2 つのパネル 23 の互いに反対側の縁から延びており、前者は、パネル 26”とともに、パネル 23’、25’、26’ の間の相対位置を維持するための、すなわち各蓋 18 のそれぞれ対応する背面壁 23、前面壁 25、及び端面壁 26 の間の相対位置を維持するための、フィンを構成する。パネル 24”は、パネル 23’ の互いに反対側の縁のところ延びており、他の折り曲げ線 42 に対して実質的に垂直な折り曲げ線 45 によって、

30

【0052】

パネル 26”は、切り込み線 47 によって特に切断線によって、それぞれ隣接するパネル 26’、24’ に対して分離されている。切り込み線 47 は、互いに対して垂直に配置された 2 つの切り込み線を含む。一方の切り込み線は、パネル 26’ 及び 26”の間に配置され、他方の切り込み線は、パネル 24’ 及び 26”の間に配置されている。パネル 19’ は、

40

【0053】

要約すると、ブランク 34 は、各蓋 18 の補強フラップを構成する 2 つのパネル 25”と、各蓋 18 の前面壁 25 を構成する 2 つのパネル 25’（それぞれが、パネル 25”に対して隣接している）と、各蓋 18 の端面壁 26 を構成する 2 つのパネル 26’（それぞれが、第 2 パネル 25’ に対して隣接している）と、各蓋 18 の背面壁 23 を構成する 2 つのパネル 23’（それぞれが、第 3 パネル 26’ に対して隣接している）と、外側収容部材 3 の背

50

面壁 17 を構成するパネル 17' (2 つの第 4 パネル 23' の間に介在されている) と、を含む。

【0054】

上述した紙巻きタバコパッケージ 1 は、複数の利点を有している。

【0055】

主に、紙巻きタバコパッケージ 1 は、公知のパッケージと比較して、宣伝用のメッセージ及び画像を適用するために利用可能な、より大きな表面積を有している。実際、公知のパッケージでは、カップ本体から突出して蓋 18 を開けた時に見えるカラーの表面上だけにしか、宣伝用のメッセージ及び／又は画像を適用することができない。対照的に、当該の紙巻きタバコパッケージ 1 では、宣伝用のメッセージ及び画像を、内側収容部材 2 の前面壁 13 全体に対して適用することができる。このように、ブランク 33、34 を製造するための材料の消費量をほぼ不変に維持しつつ、かつ、紙巻きタバコ群 4 を組み立てるために利用可能な空間を最大限に利用しながら、宣伝用のメッセージ及び画像を適用するために利用できる表面積が、大幅に増大する。

【0056】

一方の紙巻きタバコ群 4 が、他方の紙巻きタバコ群 4 に対して逆向きに配置されてもよいことは、理解されよう。この場合、喫煙者は、一方の紙巻きタバコ群 4 については、例えばタバコ側から取り出すこととなり、他方の紙巻きタバコ群 4 については、例えばフィルタ側から取り出すこととなる。

【0057】

紙巻きタバコパッケージ 1 は、また、蓋 18 を、ひいてはそれぞれ対応する取り出し開口 12 を、一度に 1 つずつ (すなわち、同時にではなく) 開封することができ、その結果、開封されない方の紙巻きタバコ群 4 の鮮度が、より良好に保持されるという利点を有している。言い換えれば、蓋 18 のうちの一方を開放することにより、他方の紙巻きタバコ群 4 を閉塞状態に維持しつつ、所与の紙巻きタバコ群 4 のみに対して排他的に出し入れすることができる。したがって、複数の紙巻きタバコ群 4 に対して、互いに独立的に出し入れすることができる。よって、開封されずに後で消費されることとなる紙巻きタバコ群 4 は、その新鮮さ及び香りを保持する。これは、閉塞タブが蓋 18 に対して恒久的に接続されているパッケージでは、より一層重要である。

【0058】

喫煙者がそれでも両方の蓋を開放することを要望したとしても、上述したパッケージ 1 は、各蓋 18 の前面壁 25 によって支持されて、実質的に水平方向に配置されることにより、より大きな安定性を可能とする。特に、図 6 に示す実施形態は、両方の蓋 18 を開放することにより、紙巻きタバコパッケージ 1 を、ボックス、ケース、又は卓上ディスプレイ、として使用し得るという利点を有している。実際、2 つの蓋 18 を同時に開放することにより、それらの蓋を支持ポイントとして使用することができ、これにより、パッケージを開放状態に維持しつつ、紙巻きタバコを取り出すために出し入れ可能とする。

【0059】

上述したパッケージ 1 の別の利点は、ブランク 33 及び 34 を作製するために使用される材料の量が、公知の硬質パッケージの場合と同様であることである。

【0060】

加えて、本発明の対象をなす紙巻きタバコパッケージ 1 は、製造が容易で経済的である。なお、本発明の実施形態の態様として、以下に示すものがある。

〔態様 1〕

喫煙物品用パッケージ (1) であって、

互いに隣接して配置された 2 つの喫煙物品群 (4) と、

前記 2 つの喫煙物品群 (4) を取り囲む内側収容部材 (2) であり、それぞれ対応する前記喫煙物品群 (4) を出し入れするための 2 つの異なる別個の取り出し開口 (12) を有し、さらに、前面壁 (13)、2 つの側壁 (14)、及び／又は背面壁 (15)、を含む、内側収容部材 (2) と、

10

20

30

40

50

前記内側収容部材（２）の周囲に配置された外側収容部材（３）であり、前記２つの喫煙物品群（４）を取り囲み、さらに、背面壁（１７）を含む、外側収容部材（３）と、

前記外側収容部材（３）の前記背面壁（１７）の互いに反対側の端部に対してヒンジ結合された２つの蓋（１８）であり、対応する前記取り出し開口（１２）の開放位置と閉塞位置との間にわたって回転し、さらに、それぞれが、前記外側収容部材（３）の前記背面壁（１７）に対してヒンジ結合された背面壁（２３）と、２つの側壁（２４）と、前面壁（２５）と、前記前面壁（２５）と前記背面壁（２３）との間に介在された端面壁（２６）と、を含む、２つの蓋（１８）と、を含み、

前記喫煙物品用パッケージ（１）は、前記外側収容部材（３）が前面壁を有していないことを特徴とする、喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様２〕

前記閉塞位置では、蓋（１８）の前記前面壁（２５）の端部（２７）は、他方の前記蓋（１８）の前記前面壁（２５）の端部（２８）に対して隣接しており、これにより、両方の蓋（１８）の両方の前記前面壁は、前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）の全体を覆っている、態様１に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様３〕

前記外側収容部材（３）は、前記背面壁（１７）と、前記背面壁（１７）に対して垂直に配置された２つの側壁（１９）と、を含む、態様１又は２に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様４〕

前記外側収容部材（３）の前記２つの側壁（１９）は、前記内側収容部材（２）の前記２つの側壁（１４）に対して接着されている、態様３に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様５〕

前記内側収容部材（２）は、前記前面壁（１３）と、前記前面壁（１３）に対して垂直に配置された前記２つの側壁（１４）と、２つの端面壁（１６）と、互いに別個のかつ離間した２つの背面壁（１５）と、を含み、前記取り出し開口（１２）は、対応する前記端面壁（１６）内へと及び前記前面壁（１３）内へと、少なくとも部分的に延びている、態様１～４のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様６〕

前記内側収容部材（２）は、前記前面壁（１３）と、前記前面壁（１３）に対して垂直に配置された前記２つの側壁（１４）と、前記２つの側壁（１４）を互いに連結する１つの単一背面壁（１５）と、を含み、

前記内側収容部材（２）は、端面壁を有していない、態様１～４のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様７〕

それぞれが、対応する前記取り出し開口（１２）上において前記内側収容部材（２）に対して接続された２つの閉塞タブであり、前記取り出し開口（１２）自体を覆わないという目的のために、持ち上げ可能なものとされた２つの閉塞タブを含む、態様１～６のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様８〕

少なくとも１つの前記閉塞タブは、対応する蓋（１８）に対して恒久的に接続されている、態様７に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様９〕

前記喫煙物品群（４）のそれぞれは、前記内側収容部材（２）の幅の半分に等しい幅と、前記内側収容部材（２）の高さに等しい高さ、と、を有し、

前記２つの喫煙物品群（４）は、互いに並置して配置されているとともに、それぞれ対応する側壁（８）の領域で隣接しており、

前記２つの取り出し開口（１２）は、前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）の対角線に沿った互いに反対側の頂点の領域に配置され、前記２つの取り出し開口（１２）

10

20

30

40

50

のそれぞれは、前記内側収容部材（２）の幅の半分にほぼ等しい幅を有している、態様１～８のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様１０〕

前記喫煙物品群（４）のそれぞれは、前記内側収容部材（２）の幅に等しい幅と、前記内側収容部材（２）の高さの半分に等しい高さと、を有し、

前記２つの喫煙物品群（４）は、互いに上下に配置されているとともに、それぞれ対応する底面壁（９）の領域で隣接しており、

前記２つの取り出し開口（１２）のそれぞれは、前記内側収容部材（２）の幅に等しい幅を有している、態様１～８のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様１１〕

各蓋（１８）の前記前面壁（２５）は、台形形状を有し、

各蓋（１８）の自由端（２７、２８）は、前記蓋（１８）の前記前面壁（２５）の側方縁（３１）に対して鋭角又は鈍角を形成している、態様１～１０のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様１２〕

前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）には、前記取り出し開口（１２）の横に配置された又は前記取り出し開口（１２）どうしの間に配置された文字又は描画が設けられている、態様１～１１のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様１３〕

喫煙物品用パッケージ（１）であって、

第１の喫煙物品群（４）と、

第２の喫煙物品群（４）と、

前記第１の喫煙物品群（４）及び前記第２の喫煙物品群（４）を少なくとも部分的に取り囲む内側収容部材（２）であり、前面壁（１３）と、背面壁（１５）の少なくとも一部と、２つの側壁（１４）と、を有し、さらに、前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）の領域には、前記第１の喫煙物品群（４）を出し入れするための第１の取り出し開口（１２）と、前記第２の喫煙物品群（４）を出し入れするための第２の取り出し開口（１２）と、が少なくとも部分的に存在している、内側収容部材（２）と、

背面壁（１７）を含む外側収容部材（３）と、

前記背面壁（１７）の第１縁（２１）に対してヒンジ結合された第１蓋（１８）、及び、前記背面壁（１７）の第２縁（２２）に対してヒンジ結合された第２蓋（１８）であり、前記第１蓋（１８）及び前記第２蓋（１８）のそれぞれには、前面壁（２５）と、端面壁（２６）と、背面壁（２３）と、が設けられ、前記第１蓋（１８）及び前記第２蓋（１８）のそれぞれは、使用時には、それぞれ対応する前記取り出し開口（１２）を閉塞する閉塞位置と、それぞれ対応する前記取り出し開口（１２）に対して出し入れを可能とする開放位置と、の間にわたって配置されるように構成された、また逆も可能であるように構成された、第１蓋（１８）及び第２蓋（１８）と、を含み、

前記喫煙物品用パッケージ（１）は、前記閉塞位置では、両方の蓋（１８）が前記内側収容部材（２）の前記前面壁（１３）の全体を実質的に覆っていることを特徴とする、喫煙物品用パッケージ（１）。

〔態様１４〕

態様１～１３のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ（１）の前記外側収容部材（３）のためのブランク（３４）であって、

前記それぞれ対応する蓋（１８）の補強フラップを構成する２つの第１パネル（２５″）と、

前記それぞれ対応する蓋（１８）の前記前面壁（２５）を構成するとともに、それぞれが前記第１パネル（２５″）に対して隣接された、２つの第２パネル（２５′）と、

前記それぞれ対応する蓋（１８）の前記端面壁（２６）を構成するとともに、それぞれが前記第２パネル（２５′）に対して隣接された、２つの第３パネル（２６′）と、

前記それぞれ対応する蓋（１８）の前記背面壁（２３）を構成するとともに、それぞれ

10

20

30

40

50

が前記第3パネル(26')に対して隣接された、2つの第4パネル(23')と、
前記外側収容部材(3)の前記背面壁(17)を構成するとともに、前記2つの第4パ
ネル(23')の間に配置された、第5パネル(17')と、を含む、ブランク(34)。

〔態様15〕

態様1～5及び態様7～13のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ(1)の
前記内側収容部材(2)のためのブランク(33)であって、

前記内側収容部材(2)の前記背面壁(15)の2つの部分を構成する、2つの第6パ
ネル(15')と、

前記内側収容部材(2)の前記端面壁(16)を構成するとともに、それぞれが前記第
6パネル(15')に対して隣接された、2つの第7パネル(16')と、

前記内側収容部材(2)の前記前面壁(13)を構成するとともに、前記2つの第7パ
ネル(16')の間に介在された、第8パネル(13')と、を含み、

前記2つの取り出し開口(12)は、前記第7パネル(16')の領域内に及び前記第8
パネル(13')の領域内に、形成されている、ブランク(33)。

〔態様16〕

態様1～4及び態様6～13のいずれか一態様に記載の喫煙物品用パッケージ(1)の
前記内側収容部材(2)のためのブランク(33)であって、

前記内側収容部材(2)の前記側壁(14)の一部を構成する第9パネル(14'')と、

前記外側収容部材(2)の前記背面壁(15)を構成するとともに、前記第9パネル(1
4'')に対して並置して配置された第10パネル(15')と、

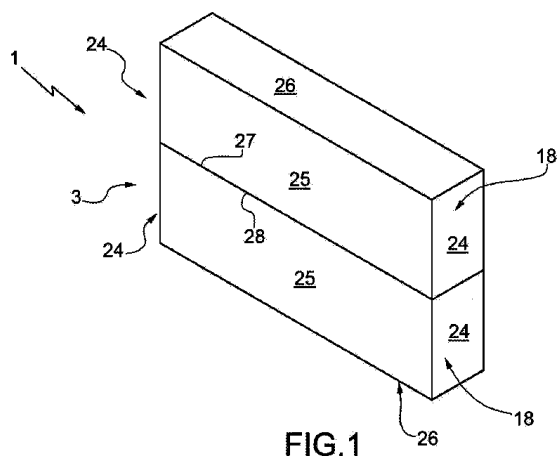
前記内側収容部材(2)の前記2つの側壁(14)をそれぞれ構成する、2つの第11
パネル(14')と、

前記内側収容部材(2)の前記前面壁(13)を構成する第12パネル(13')と、を
含み、

前記第10パネル(15')と前記第12パネル(13')と間に、第11パネル(14'
)が介在されているとともに、前記第12パネル(13')に対して並置して、他の第11
パネル(14')が配置されている、ブランク(33)。

【図面】

【図1】



【図2】

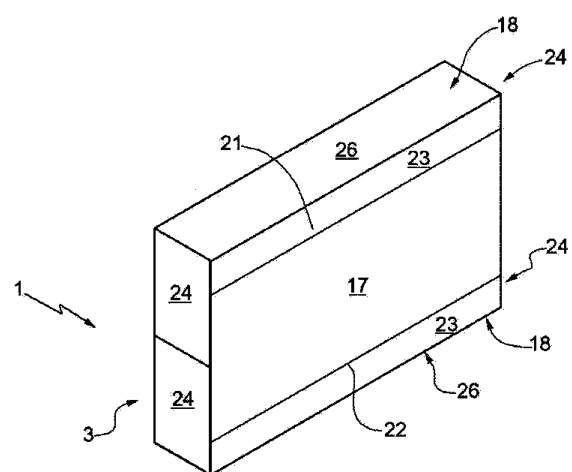


FIG.2

【圖 3】

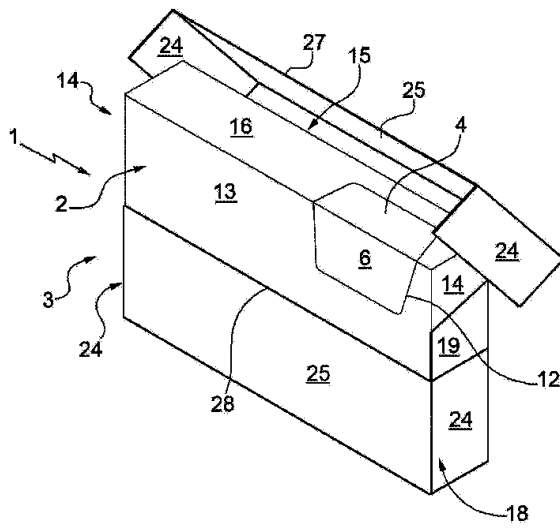


FIG.3

【図 4】

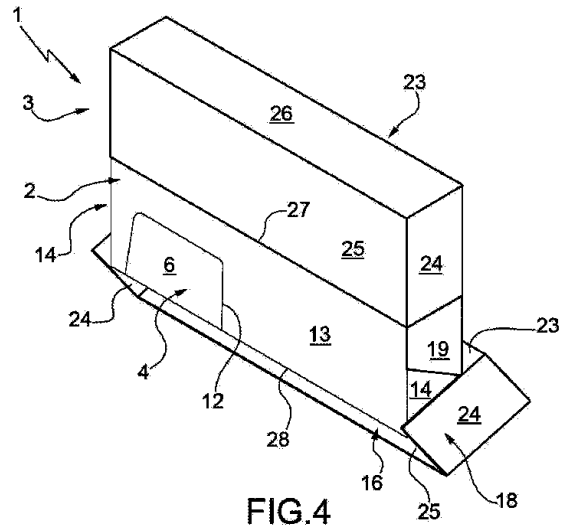


FIG.4

【図 5】

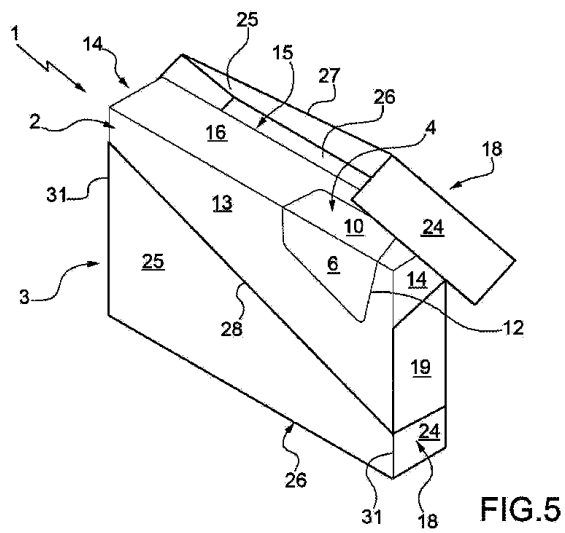


FIG.5

【圖 6】

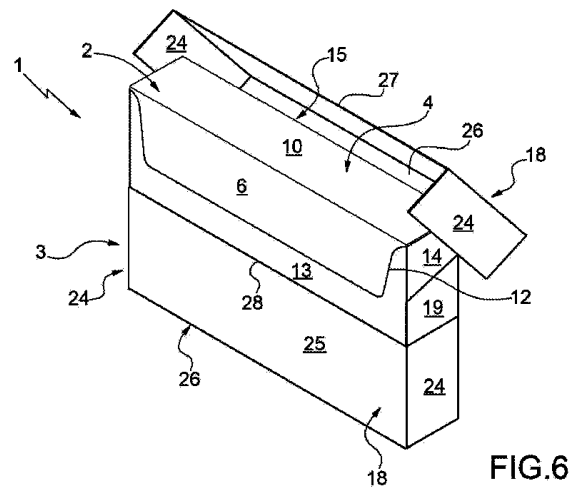


FIG.6

【図 7】

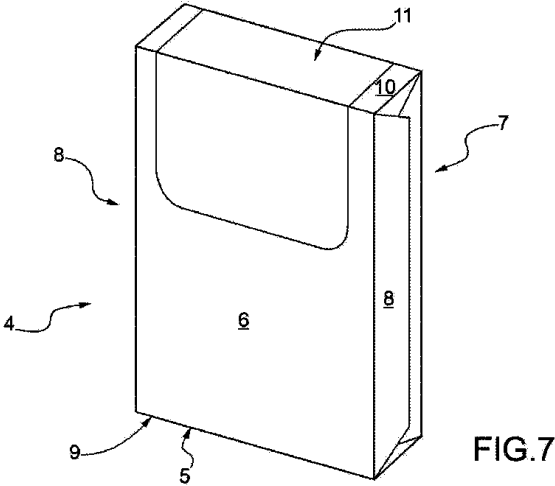


FIG.7

【図 8】

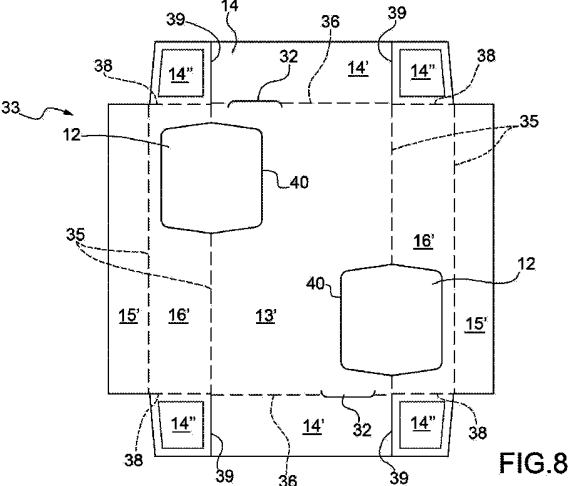


FIG.8

【図 9】

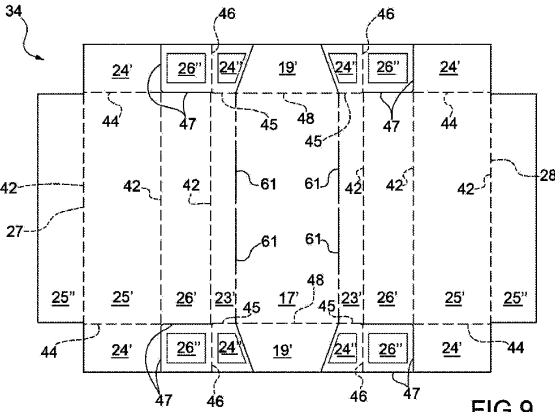


FIG.9

【図 10】

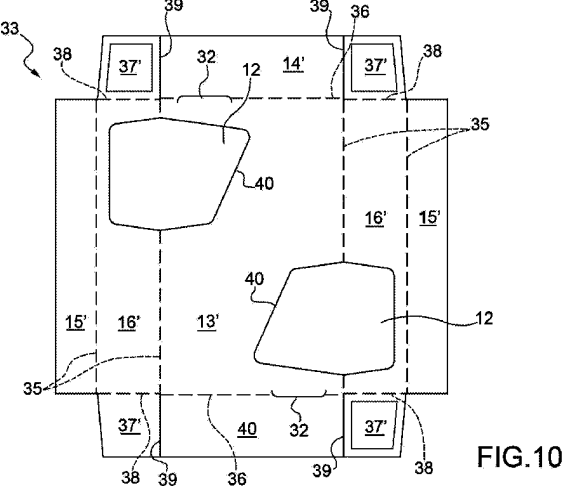


FIG.10

10

20

30

40

50

【図 1 1】

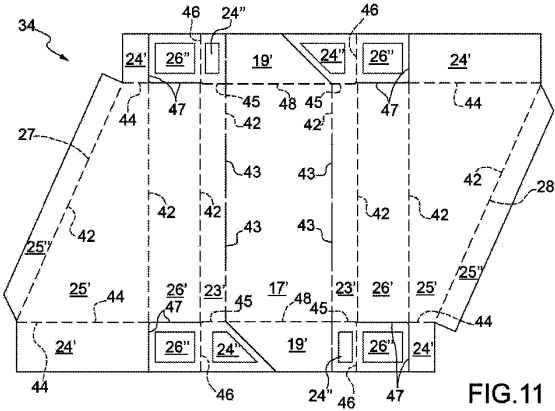


FIG.11

【図 1 2】

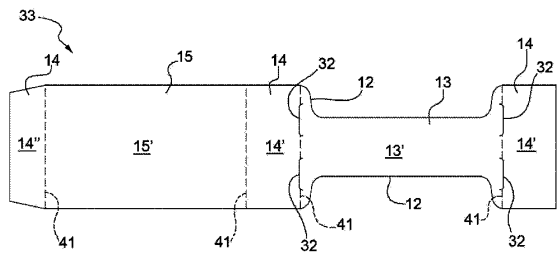


FIG.12

【図 1 3】

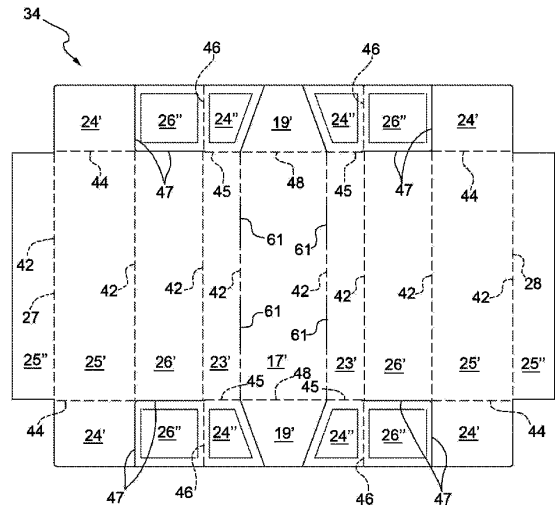


FIG.13

【図 1 4】

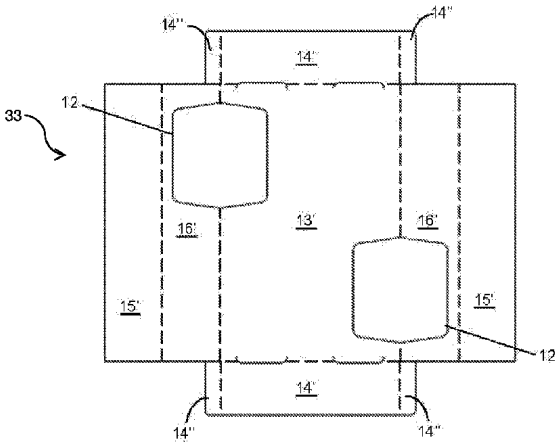


FIG. 14

10

20

30

40

50

【図 1 5】

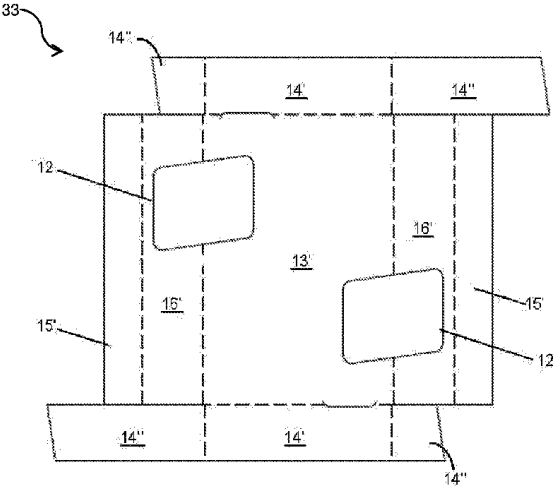


FIG. 15

【図 1 6】

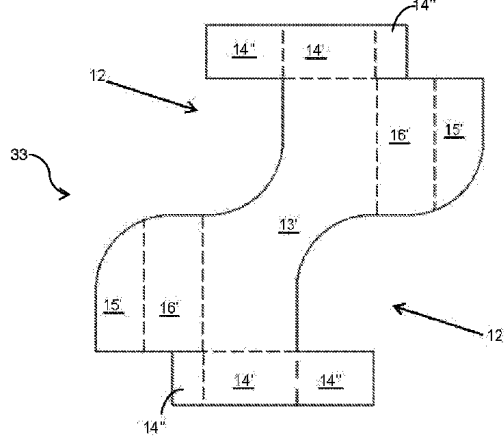


FIG. 16

【図 1 7】

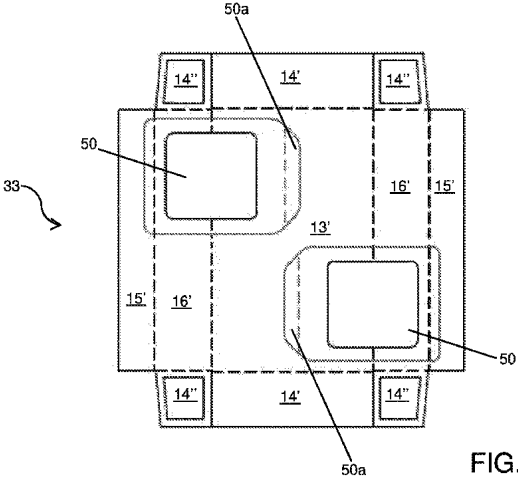


FIG. 17

10

20

30

40

50

フロントページの続き

- 弁理士 森本 有一
- (74)代理人 100126848
- 弁理士 本田 昭雄
- (72)発明者 ロレーナ ダルフォンソ
- イタリア国, 4 0 1 3 3 ボローニャ, ビア バッティンダルノ, 9 1, チ／オ ジー．デー ソチ
- エタ ペル アツィオニ
- (72)発明者 ロベルト ポッローニ
- イタリア国, 4 0 1 3 3 ボローニャ, ビア バッティンダルノ, 9 1, チ／オ ジー．デー ソチ
- エタ ペル アツィオニ
- (72)発明者 ルカ フェデリーチ
- イタリア国, 4 0 1 3 5 ボローニャ, ビア リッポ ディ ダルマジオ, 1 3
- 審査官 家城 雅美
- (56)参考文献 特表 2 0 1 0－5 2 4 8 0 1 (J P, A)
- 実開昭 5 9－1 6 5 3 2 1 (J P, U)
- 特表 2 0 0 8－5 0 9 0 5 7 (J P, A)
- 中国実用新案第 2 4 8 8 8 6 9 (C N, Y)
- 米国特許出願公開第 2 0 1 7／0 1 1 3 8 6 5 (U S, A 1)
- 中国実用新案第 2 0 5 6 3 3 3 4 4 (C N, U)
- 米国特許第 0 5 0 7 4 4 1 2 (U S, A)
- 国際公開第 9 9／0 4 3 5 7 6 (W O, A 1)
- 米国特許第 0 2 9 8 3 4 2 4 (U S, A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., D B名)
- B 6 5 D 8 5／1 0
- B 6 5 D 5／0 0－5／7 6